



第2回 大分大学 福祉シンポジウム

生活困窮者自立支援 制度の施行に向けて

— コミュニティを紡ぎ直し、制度を編み変える —

日時 平成27年**2月21日(土)** 13:00 ~16:30

場所 大分大学旦野原キャンパス
第1大講義室(六角堂)

参加無料 定員**200名**
2月18日(水)までにFAXまたはメール
にてお申し込みください

報告1

大分大学大学院
福祉社会科学部准教授

垣田 裕介

報告2

京丹後市健康長寿福祉部
生活福祉課主任

藤村 貴俊

報告3

山科醍醐こどものひろば
理事長

村井 琢哉

パネルディスカッション

パネリスト

垣迫 弘美
後藤 素子
西岡 隆
藤村 貴俊
村井 琢哉
垣田 裕介

コーディネーター

阿部 誠

日出町社会福祉協議会事務局長
大分県福祉保健部地域福祉推進室長
臼杵市理事兼協働まちづくり推進局長
京丹後市健康長寿福祉部生活福祉課主任
山科醍醐こどものひろば理事長
大分大学大学院福祉社会科学部准教授
大分大学大学院福祉社会科学部部長

【問合せ/申し込み先】

大分大学福祉科学研究センター 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地
TEL/FAX:097-554-7450 [✉ fukusi@oita-u.ac.jp](mailto:fukusi@oita-u.ac.jp)

【主催】 大分大学大学院福祉社会科学部・大分大学福祉科学研究センター
【後援】 大分県・臼杵市・日出町・大分県社会福祉協議会

生活困窮者自立支援制度の施行に向けて —コミュニティを紡ぎ直し、制度を編み変える—

経済的困窮や社会的孤立の問題が深刻化するなかで、新たな対策として生活困窮者自立支援法が制定されました。この法は、生活や就労など総合的な相談支援によって生活困窮者の社会的包摂を目指すもので、平成27年4月からの施行を目前に控えています。

このシンポジウムでは、モデル事業に取り組んでいる全国の自治体の中から、比較的人口が少なく市直営で事業を実施し、就労支援に取り組んでいる京丹後市、貧困の連鎖予防の観点から重要な子どもの学習支援に取り組んでいる京都市のNPO法人山科醍醐こどものひろば、大分県臼杵市と日出町で調査を行ってきた大分大学からの報告を踏まえ、生活困窮者自立支援制度の施行に向けて、その意義と課題を探ります。

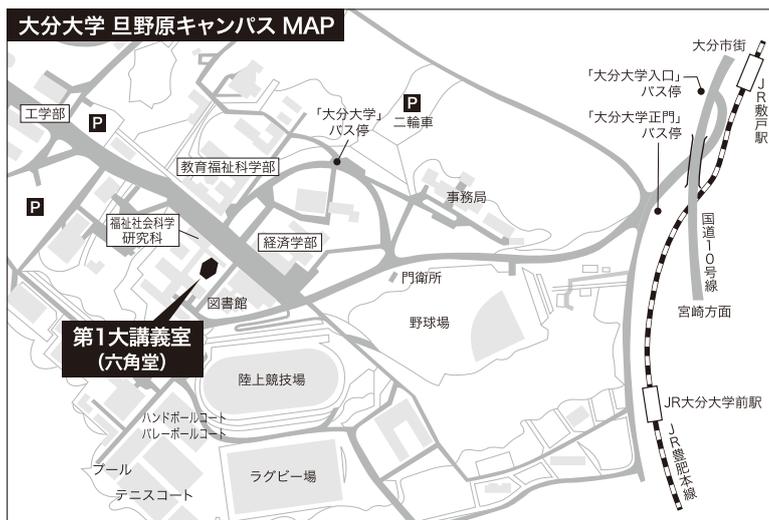
プログラム

13:00	開会	挨拶	阿部 誠	大分大学大学院福祉社会科学研究科長
13:05	報告1		垣田 裕介	大分大学大学院福祉社会科学研究科准教授
13:35	報告2		藤村 貴俊	京丹後市健康長寿福祉部生活福祉課主任
14:05	報告3		村井 琢哉	山科醍醐こどものひろば理事長
14:35	休憩			
14:50	パネルディスカッション			
16:30	閉会	挨拶	下田 憲雄	大分大学福祉科学研究センター長

対象者

福祉関係者・行政関係者・
研究者・学生・一般市民
(参加無料・定員200名)

参加は無料ですが、2月18日(水)までに申込みが必要です。参加者が定員を満たした場合は、期限前に申込受付を締め切ります。
なお、手話通訳、要約筆記を必要とする方は、2月12日(木)までに申込みをお願いします。



事前に参加申し込みが必要です。2月18日までにファックスまたはメールにてお申し込みください。

メールはこちらまで ▶ fukusi@oita-u.ac.jp

FAX申し込み記入欄

所属先			
氏名	(フリガナ)		
連絡先	電話番号	FAX番号	
	メールアドレス	@	

*お預かりしたお客様の情報は本シンポジウム以外で使用いたしません。